

農業クラブ島根県大会・中国大会 参加生徒報告

大健闘の出雲農林高校代表者

夏休み中、農業鑑定競技・情報処理競技・テニス・ラケット・ソフトボール・バレーボール・卓球大会の県大会、広島県にて意見発表・プロジェクト発表の中国大会が行われました。十月に開催される農業クラブ全国大会への切符を手にするために、本校代表の生徒達は大健闘していました。ここでは、参加生徒の感想を一部ご紹介いたします。



(☆中国大会で優秀賞獲得☆)

「はじめての中国大会」

動物科学科三年 高田 拓
七月十五日に開催された県大会で最優秀賞を獲得し、島根県

代表として和牛肥育プロジェクトが中国大会に出場することが決まりました。大会に向けて資料作成やデータ集計等、良い発表が出来るように努力しました。緊張しましたが、他校の発表を見る事が出来るとも参考になりました。今後、出荷目標体重の七〇〇kg目指して日々の管理を行いたいと思います。

「伝えたい勇氣」

食品科学科三年 竹崎華月
私の意見発表の内容は「勇氣」についてです。勇氣を絞ることで夢が叶う、これを聴衆者の皆さんに分かってもらえるように文章を考えました。中国大会の結果は優秀賞でしたが、貴重な

経験をして頂いた賞以上に得るものが多い大会でした。これから進路決定の時期を迎えます。緊張するような場面でも落ち着いて対応できるように今回の経験を役立てたいです。

「周りに負けたくない」

動物科学科二年 曾田 空
県大会に出るまでに、過去に出題された問題を一生懸命練習しました。練習を重ねるうちに、パソコン操作の正確性が増し、自信ができました。大会当日、「全国大会へ行きたいな」という思いで臨みました。結果、島根県代表として全国大会への切符を手に入れました。十月の全国大会まで練習を重ねて、確実な力を身に付けたいと思います。

「農の夏休み中の成果」

農業鑑定競技県大会最優秀賞
動物科学科三年 石飛なびき
中国ブロック意見発表大会・文化生活区分 優秀賞
食品科学科三年 竹崎華月
中国ブロックプロジェクト発表大会(食料区分)優秀賞
動物科学科三年松本つぐみ 石本茜
高田拓 高橋大輔 成相知香 吉田 圭祐

「環境科学科」

「自分の身長を抜く勢い」
環境科学科一年 古川一輝
トウモロコシの収穫に至るまで、除草やかん水を欠かさず行いました。自分の身長(164cm)を抜かれた時は嬉しかったです。夏休みに入り無事に収穫できて、日々の実習の成果が実ったと感じました。その他、測量実習も行いました。牛舎とブドウハウス周辺の計測をしました。計測ポイントが多く大変でしたが、平板を素早く正確に使えるようになり、一つレベルアップできたと思います。

「少しの興味がチャレンジする第一歩」

学校長 桑原 克夫
長い夏休みも終わり、二学期となりました。生徒の皆さんにとつどんな夏休みでしたか。この夏休み十三名の生徒が先進地農業研修に出かけて、その報告を受けました。「大変だったけど、良い勉強となった」とのことでした。私も三日間でしたが、大阪教育大学で安全教育の研修を受けました。皆さんの記憶の中にあると思いますが、附属の池田小学校で一・二年生のまだまだこれから色々な楽しいことを経験していかねばならない子どもたち八人の命を奪った事件のあった大学が行っている研修です。このことについてもっと話したいところですが、今回のその研修の中の話を中心と紹介させていただきます。

「いつまでも美味しく」

食品科学科一年木村竜也
収穫したトウモロコシを使用して缶詰の製造実習を行いました。実習では、良い粒と悪い粒の選別が大変でしたが、時間が経つにつれて正確に見分けられるようになりました。トウモロコシは甘く、自分達で生産することも難しいと感じました。高校で初めて農業に触れて、来る缶詰はとてよよいと思えます。今後、白菜の栽培感しています。今後、しっかり実習を行う予定です。害虫の被害に合わないよう管理に気を配りたいと思います。

「生産の難しさ」

動物科学科一年糸賀友紀
トウモロコシの収穫や白菜の播種を行いました。定期的なかん水をしなかったのが、質はあまりよくありませんでした。スパーでは簡単に買えることが出来るけれど、自分達で生産することは難しいと感じました。高校で初めて農業に触れて、来る缶詰はとてよよいと思えます。今後、白菜の栽培感しています。今後、しっかり実習を行う予定です。害虫の被害に合わないよう管理に気を配りたいと思います。

「いつまでも美味しく」

食品科学科一年木村竜也
収穫したトウモロコシを使用して缶詰の製造実習を行いました。実習では、良い粒と悪い粒の選別が大変でしたが、時間が経つにつれて正確に見分けられるようになりました。トウモロコシは甘く、自分達で生産することも難しいと感じました。高校で初めて農業に触れて、来る缶詰はとてよよいと思えます。今後、白菜の栽培感しています。今後、しっかり実習を行う予定です。害虫の被害に合わないよう管理に気を配りたいと思います。

「自分の身長を抜く勢い」

環境科学科一年 古川一輝
トウモロコシの収穫に至るまで、除草やかん水を欠かさず行いました。自分の身長(164cm)を抜かれた時は嬉しかったです。夏休みに入り無事に収穫できて、日々の実習の成果が実ったと感じました。その他、測量実習も行いました。牛舎とブドウハウス周辺の計測をしました。計測ポイントが多く大変でしたが、平板を素早く正確に使えるようになり、一つレベルアップできたと思います。

「少しの興味がチャレンジする第一歩」

学校長 桑原 克夫
長い夏休みも終わり、二学期となりました。生徒の皆さんにとつどんな夏休みでしたか。この夏休み十三名の生徒が先進地農業研修に出かけて、その報告を受けました。「大変だったけど、良い勉強となった」とのことでした。私も三日間でしたが、大阪教育大学で安全教育の研修を受けました。皆さんの記憶の中にあると思いますが、附属の池田小学校で一・二年生のまだまだこれから色々な楽しいことを経験していかねばならない子どもたち八人の命を奪った事件のあった大学が行っている研修です。このことについてもっと話したいところですが、今回のその研修の中の話を中心と紹介させていただきます。

「いつまでも美味しく」

食品科学科一年木村竜也
収穫したトウモロコシを使用して缶詰の製造実習を行いました。実習では、良い粒と悪い粒の選別が大変でしたが、時間が経つにつれて正確に見分けられるようになりました。トウモロコシは甘く、自分達で生産することも難しいと感じました。高校で初めて農業に触れて、来る缶詰はとてよよいと思えます。今後、白菜の栽培感しています。今後、しっかり実習を行う予定です。害虫の被害に合わないよう管理に気を配りたいと思います。

「自己新記録」

ウエイトリフティング部 波部真也
八月九日〜十二日まで奈良県でインターハイがありました。選抜で入賞したので、今回も必ず入賞しなければというプレッシャー

「二人の呼吸」

カヌー部 福田樹 田部慶吾
八月二日〜九日、京都府久美浜町でインターハイがありました。大

練習の成果を發揮

インターハイ
八月上旬、全国高校総体が開催されました。大会当日、コンディショニングは一年間で最高でした。自己新記録がとれて気持ちよかったです。部活を引退した今、我慢強さや集中力など精神が伸びたと感じています。今後の授業や実習に活かしたいと思います。



「少しの興味がチャレンジする第一歩」

学校長 桑原 克夫
長い夏休みも終わり、二学期となりました。生徒の皆さんにとつどんな夏休みでしたか。この夏休み十三名の生徒が先進地農業研修に出かけて、その報告を受けました。「大変だったけど、良い勉強となった」とのことでした。私も三日間でしたが、大阪教育大学で安全教育の研修を受けました。皆さんの記憶の中にあると思いますが、附属の池田小学校で一・二年生のまだまだこれから色々な楽しいことを経験していかねばならない子どもたち八人の命を奪った事件のあった大学が行っている研修です。このことについてもっと話したいところですが、今回のその研修の中の話を中心と紹介させていただきます。

「少しの興味がチャレンジする第一歩」

学校長 桑原 克夫
長い夏休みも終わり、二学期となりました。生徒の皆さんにとつどんな夏休みでしたか。この夏休み十三名の生徒が先進地農業研修に出かけて、その報告を受けました。「大変だったけど、良い勉強となった」とのことでした。私も三日間でしたが、大阪教育大学で安全教育の研修を受けました。皆さんの記憶の中にあると思いますが、附属の池田小学校で一・二年生のまだまだこれから色々な楽しいことを経験していかねばならない子どもたち八人の命を奪った事件のあった大学が行っている研修です。このことについてもっと話したいところですが、今回のその研修の中の話を中心と紹介させていただきます。

「新型インフルエンザへの対応」

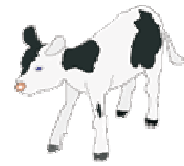
健康相談部 伊藤節子

ほとんどの人が免疫をもたない新型インフルエンザへの感染のピークが十月中旬頃という情報があります。本校でも八月中旬頃、近隣の高校で集団感染が発生したことに伴い、二学期に向けての感染予防対策を行ってきました。生徒の皆さんにも、各個人で予防するようにお話もしました。ひとり一人が予防に心がければ、感染の拡大も防げると思います。予防策を次に挙げます。

- ① 手洗い：流水で石鹸を使用し、十五秒程度洗う。
- ② マスクの使用：咳が出る人、感染した人が使用する。
- ③ 人ごみをさける：流行時には外出を避ける。
- ④ 咳エチケット：ティッシュ等で口と鼻を覆う。
- ⑤ タオルやハンカチ等、個人使用の物を他人に貸さない。
- ⑥ 生活習慣を整える：栄養、休養、運動など。
- ⑦ 体調が悪い時は早めに医療機関へ

「きびくわ」や「やりがい」を先進地研修

夏休み中、多くの生徒が県外成長した自分」
 外の農家で二週間程度の研修に参加しました。研修後の生徒からは「働くことはとてもをしました。牧場に到着した大変。厳しさとやりがいの両時、「敷地も広く牛の数も多面があることを感じた」と話いな」と感じました。実習内容していました。今回の経験は乳牛の搾乳や発情チェック、今後の学校生活で大いに役立つ人工授精の補助などです。学校とは実習内容が異なるので、毎日新しい発見がありとても楽しかったです。今回の研修を通して、作業の正確性や個々の牛に応じた対処する判断力を高めることが出来ました。ぜひ学校でも高めた力を発揮して、テキパキ動けるようにしたいと思います。



9月の行事予定		
日	曜	項
1	火	体育祭
2	水	代休(8/30)
3	木	就職推薦文章発送
4	金	全校朝礼
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	CS
10	木	第2回追認考査
11	金	
12	土	CS
13	日	ウエイト市大会(本校)
14	月	SC来校 第2回農業各分野現場実習
15	火	進学者校内選考会議
16	水	就職試験開始
17	木	キャリア教育(1年)
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	国民の休日
23	水	秋分の日
24	木	SC来校
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	中間考査

☆生徒とPTAの協働☆

夏休み学校緑化協力事業
 総務部長 三宅喜保

○趣旨
 学校緑化作業を保護者と生徒で行い、体験を共有して家庭での話題を提供することにより家庭の教育力向上の一助とする。

- 内容 グラウンドの除草作業
- 時期 八月二十三日(日)
- 参加者 保護者三十五名 生徒四十一名(生徒会執行部、サッカー部員、陸上部員、ソフトテニス部員、バドミントン部員) 教員二十四名

合計100名

朝からやや曇り空で作業を行うのにやりやすい状況であった。次第に天候がよくなり大変熱くなってきた。合計100名の参加者が心地よい汗を流しながら和気あいあいと作業を進めることができた。親子が協力した作業により、話題を共有することができたと思う。また、作業をしながら保護者同士や教員との交流もでき、相互理解の一助となった。通常、PTA行事には母親の参加が圧倒的に多いが、本事業では父親の姿が多く見られた。おかげでグランドが大変きれいになりました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

(夏休み緑化作業の様子)



☆農業に「触れて」「感じて」「学ぶ」☆

中学生一日体験入学

十八日、中学生の一日体験入学を実施しました。生徒は自分が希望したコースで農業に触れて面白さや楽しさを感じとり、農業の奥深さを学んでいました。

☆体験内容紹介☆

- 植物科学科
 ・やさしいパイオ体験
 ・米の食味試験
- 環境科学科
 ・水準測量
 ・苔玉作り
- 食品科学科
 ・果汁の酸測定
 ・パンのふくれる仕組み

○動物科学科

- ・動物の健康診断
 ・バター作り体験

☆参加生徒感想☆

- 植物科学科
 ・初めての体験であったが参考になり楽しかった。
 ・食味試験を初めて体験し、難しかったけど楽しかった。
- 環境科学科
 ・測量は難しかったけれど面白さもあった。



(体験入学 犬の健康診断)

☆目指せ優勝☆

九月一日に出雲ドームで体育祭が行われました。事前の準備では各科の三年生が中心となつて、優勝旗を手にするために一生懸命練習していました。詳しい体育祭の様子は次号で紹介いたします。

☆九月の主な行事☆

- 二年生第二回農業各分野現場実習 十四日～十八日
- 三年生就職試験 十六日(随時)
- 中間考査 三十日～十月三日

☆感謝☆

先日、匿名で生徒の落し物を封筒で届けて下さいました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

編集後記

「うきうき農業」一年生は入学後半が過ぎようとしています。生徒に農業の印象を尋ねると「はじめて農業に触れて凄く面白かった、イメージが変わった」と答えてくれました。実習の様子を見ても、個々が笑顔

でうきうきと作業をしています。これから実りの秋を迎えます。自分もしっかりと実らせる「レベルアップ」が出来るように「うきうき農業」を通して、農場というフィールドで一生懸命学んで欲しいと願っています。



(体験入学 植物バイオ実験)